

「第2回 病院での在宅医療連携研修会」報告

地域包括ケアシステムの重要な要素である地域医療において切れ目のない医療提供体制を整えるべく、病院スタッフと在宅療養支援スタッフの相互理解推進のために下記のプログラムに沿い「急性期病院と在宅医療現場の連携」研修会を開催しました。

第2回病院での在宅医療連携研修会

急性期病院と在宅医療現場の連携 「がん患者の在宅療養を支える」

日時：平成 29年 3月 4日(土)
14:30~17:00 (開場14:00)
場所：刈谷豊田総合病院 診療棟5階 教育研修センター

主催	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 刈谷医師会 在宅医療サポートセンター
後援	刈谷市 高浜市 知立市

プログラム

参加対象：①病院従事者：医師、看護師、薬剤師、リハビリ士、栄養士、医療ソーシャルワーカー等
②在宅ケア従事者：在宅医、歯科医、訪問看護師、薬剤師、リハビリ士、ケアマネジャー等
定員：約110名(事前申込制)

1. 病院と在宅が連携する緩和ケア
演者：吉田 憲生 医師
刈谷豊田総合病院 がん総合診療センター長

2. 在宅ターミナルのすすめ
演者：竹内 保雄 医師
竹内クリニック院長
刈谷医師会

3. グループワーク「模擬退院時カンファレンス」
参加者全員

グループワークの参加者に制限はありません。持ち以上の参加申し込みがある場合は抽選のみとさせていただきます。

情報交換会のお誘い
17:10~18:05
研修会終了後、懇話にて懇親の場をご用意しております。ぜひご参加下さい。

参加申込み・お問い合わせ先：
①刈谷豊田総合病院 地域連携室 鈴木 年実
mail: akemi.suzuki@toyota-kai.or.jp FAX: 0566-27-6956
②刈谷医師会 在宅医療サポートセンター 清水 美代子
TEL: 0566-24-6001

開会挨拶：刈谷医師会会長 齋藤 敏明先生
刈谷豊田総合病院院長 井本 正巳先生

プログラム内容

講演：座長 刈谷医師会 鈴木一正先生

講演1「病院と在宅が連携する緩和ケア」

刈谷豊田総合病院 がん総合診療センター長
吉田 憲生先生

講演2「在宅ターミナルのすすめ」

刈谷医師会 竹内クリニック 院長
竹内 保雄先生

グループワーク：模擬退院時カンファレンス

事例 47歳女性 乳がん患者術後再発、
全身転移有り 麻薬による緩和ケア。
「自宅で家族と一緒に過ごしたい」と
希望されるケース。

講演1 吉田先生はがん地域連携パス等の事例を紹介され刈谷豊田総合病院が目指す緩和ケアとして病院の役割は、緊急入院などの後方支援、専門的な緩和ケアの提供。在宅では訪問看護を利用し日常の診療や生活への支援、そして在宅看取りと、病院と在宅が連携する緩和ケアのお話がありました。

講演2 竹内先生は開業8年間で訪問診療98名、うち38名自宅看取りの経験を通してお話がありました。患者、家族、訪問看護師そして医師の各々の立場から在宅終末のメリット・デメリットの説明があり在宅ターミナルは、家族にも、医師にもおすすめ。その理由として①より自然な最期を迎えることが可能。②家族と面談をおこなっておれば本人・家族とのトラブルがない。③医師もそれほど大変でない、故に「在宅ターミナルはおすすめですよ！」としめられました。

グループワークでは、事例に対し病院医師、在宅医をはじめ、病院と地域の様々な職種が患者の望む生活を実現するためにそれぞれの専門知識と役割をディスカッションしました。

研修会実行委員から、第1回研修会模擬退院カンファレンスより意見交換が充実して行っていたとの感想が聞かれました。

刈谷医師会在宅医療サポートセンターまとめ